

琉球大学学術リポジトリ

草稿『南洋群島の研究』第六章 社会 第二節 教育

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38045

矢内原忠雄文庫

史料名	草稿『南洋群島の研究』第六章 社会 第二節 教育
封筒番号	240
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 14 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 240

史料名	草稿『南洋群島の研究』第六章 社会 第二節 教育
資料形態	B5厚稿用紙
枚 数	24
頁 数	47
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	<p>南洋</p> <p>裏書き23枚</p> <p>今泉分類記号： Y</p>

政府は前述の如く教化補助金を支出し南洋群
島唯一の日本人による基督教伝道機関たる南
洋传道園は専ら此の政府の補助金によつて維
持せらるるものであり、そのことは多くの点
に於て官廳^{目的}を獎勵を特色とする日本の政治を
現はして居ると共に、その反面に於ては日本
の基督教がその努力を以て南洋群島^{伝道}に従事す
る働きがたいことを示して居る。

が現実には、技術とは

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

（技術とは）

往つて、現在の文化は、
は、未だに、
文化である。

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

生活は、
技術は、
文化は、

ければならない。殊にその傳道の未だ普及せ
ざるヤツポ島バラオ島及それ等の離島やマー
シャルの諸島等に於ては特に此の死の蔭に坐
する島民に對する傳道が為さねばならない。
而して教會が直接社会の世事に干渉せざる態
度の是非は別として、官廳學校及在住日本人
に對して意思の疏通を缺き一敵國の觀を呈す
ることは統治上及普及布教上決して良好の結
果を生むものでない。故に基督教宣教師は能
く限り日本人を以てするのが望ましくある。

面積狹少に
貧弱あり、

日本有^り得^るかある。群島珠にその珊瑚礁住民（離）所留
陸地而後狭小にして廣き海洋中に在する。孤なると思ふは、彼等が生涯を此の海
の採取者たるは、其の生活もまた格別なものである。習得したとは思へない。但し
又た是れ征^{（征服）}海上との間の（技術）死に有^るたのである。米^{（米）}改人々日
本人々々々の活動^{（活動）}に従うるに至りて、島民自ら
~~戦艦を以て遠洋航海に使用する。操令を失ひ、かくて被害の大建造きは止み~~
航海術は高へ、今日にはより大なり。舟は強ど自島又は島郡や環礁外
に出づるものなきに及ぶた。然るに本邦船中を航行せざるは、其の海を航す
る者たるは、も現由が海難を招くに過ぎず。目的は出づるや、或は諸島に定期航路を
有する。亦何れかの種々な往復航路をも設け、其の出づるやと向ふたり、其の舟に在る新島民、航海術
の進歩と未だ其とは程が近い。之等の新島民が、其の舟に在る新島の舟長を襲撃して、其の舟を
南の定期航路の如き、帆船で購入せん。其の舟を抱くことには前記述べたが、彼等は、其の舟の
航海術に、

理教を齎した。併し佛教は全く島民に對して働きかけない。天理教はパラオ島に位多少は島民に働きかけたが、その^布教師たる人の實状はコブラ等の仲買人を職業とするものであつて、今日に於ては布教上の活動をして居ない。統計の數字に現はれたる佛教及天理教に属する島民の人數は出席者若くは會員としてこのあるものではない。

故に南洋群島に於ける宗教的活動の主体は今日に於て示す如く今後に於ても基督教でない

大した昔同身女所と
その装飾とを建正
した。そのバラオ及ヤッ
島氏の技術は決し
低級とは言へない。

共同事務所

パラオ及びフィリピン
 オルマンハム末の建ちたも
 非平凡であらう。クレーマー
 はパラオのバイについで、
 日く、「これ等の繪物語は
 パラオ独特のもをまつて、

はパウチのバイについで、~~オース~~曰く、「これ等の繪物語はパウチ獨特のものゐる、
地球には地外への伝ふに於ても木造建築が、~~この~~こんなに系統の異なる教の
歴史描に於て飾られて居るものは、地球には地外へ何れにも存在しない」と

(描) *(Krimmer, Pallas, 24. T. S. 13.)*。一挺の鉄斧もなく、一本の釘もなくして、曾本建
1820

事全所の建築勘定を
 改
 但一南島
 氏波の
 武会制との山内城に伴ふ
 固有様式による共同
 島氏に在るの建築技術も亦退歩に赴くの外

下
四枝
和
指
数
細
ち

はふい。
此の外、島民の舞踊を見よに。その歌曲といひ、四肢や手指の微細なる旋律といひ、御草の藝術、皆りも亦、捨て置き難い。かゝる舞踊、
田舎

旋律といふ彼女の素朴な感じ。また、
の素直に、若くは、習得するに上りて、之を、
かゝる必要も粗野とは言ひ得るものがある。
（35）

勿論、鉄道を~~有~~知らず、文庫を有せず。栽培農具のを管むことなりし

事物の発展の文化の段階から未開的であることは言ふ迄もないが、

彼等には彼等固有の

(3)

なうない。或は島民の基督教は單に表面的外
形的に過ぎず、眞に内面的良心的なる信仰に
到達して居るものではないとの批判もある。
事實その位であつて更に島民教化の爲め儘す
べき餘地は甚だ大であるが、それにしても未
開土人も教化してゐる個々の強き良心的信仰
を植付けるとは例を以て可能であるとして
ても長き年月を要することは当然であつて、
今日の状態を以て基督教傳道の成績を冷評す
ることは不当である。却つて争闘を好み迷信

なる禁酒禁煙も要求したが故に、自己の利益
の防禦上教會を妨害したのである。他の一つ
は民族學者の批評であつて、教會が島民の旧
慣風習を排して之を近代化したるによりその
研究材料を失^ひたることによりて不満を抱
くものである。併し乍ら之等の非難は多く
自己の利益に立脚する職業的なものであつて、
島民自身の社會的經濟的及道德的向上に就て
基督教宣教師殊に新教宣教師の努力と如^く感^ず
貢獻は極めて大なるものありと認めなければ

[illegible]

に富み未開低級であつた島民^{々々}は今日の平和
にして秩序ある状態に迄導き上げたこと其の
効果も大なりとしなければならぬ。アフリ
カ植民地に於ても基督教の傳道せられて居る
部落と然かるものとに於ては土人の人口状態
に優劣の差が認められるといふ。我が南洋群
島に於ても各島の人口増減の状態は大体に於
て基督教^布教の程度に應ずるものと見られる
(各島信者數入ルコト)。

日本時代に入りてより基督教の外に佛教及天

（元一三年）
（生徒数三八五五）

（明治三十四年）
（生徒数三八五五）

（明治三十四年）
（生徒数三八五五）

（明治三十四年）
（生徒数三八五五）

（明治三十四年）
（生徒数三八五五）

（明治三十四年）
（生徒数三八五五）

10

和音律圖といは日本人
の意の

10

和音律圖といは日本人
の意の

10

Mission の新境

1. Lebensleben - Social Organization
 2. 生活 (Tanz, Kleidung, Wohnung, Pflanz, Rauchen)
 3. Education - Letter, Bibel, Charakter, Trinken
 4. Sonntagsarbeit, Wirtschaft
 5. Hygiene
- (a) Disorganization of the old institutions.
(b) abrupt changes of mode of life. Depopulation
(c) Tribal feud (Ponape)
(d) New Vigor: Belling, Endurance
(e) Sonntagsarbeit

Government
Boston Mission
新教宣教師が嚴格
基教宣教師の活動に對する評價には二種あり、その一つは島民に對して搾取破壊をこととしたる欧米人の捕鯨船の船員や商人達で、其に Boston Mission の新教宣教師が嚴格
政府は教化費獎勵金として南洋傳道團に補助金を
カトリック教會に
撤退の後、日本人宣教師の事業地と爲すこと
は、恐らく南洋傳道團
は實力を有する者でない。従つて Boston Mission
ボストン・ミッション

今更には本学三年補習科を以て修業年限とし、補習科
本学より小の教員を教員として得、小の教員を以て目標とする、以て本学
その数は左列の如くニ三校、学級数五八、教員数(日本)五九名、助教員(島中)三三
名、生徒数二九六一名(本学二三三名、補習科六二八名)である(昭和八年四月
現在)。此外マレーシアに留島工場の島に私立小学校一あり、生徒数四八名である。
更に大正十一年、公立小学校設置以後、昭和八年四月に於ける迄の公立小学校卒業生
総数は本学六、八九名、補習科二、二九八名である。

而して此の方法によりても亦南洋群島の人口
減すの事実を証明する材料に乏しくない。既
に述べたる如くテナニア島は嘗て豊富なる人
口を包容したと推定せられる部落の跡地、パ
ニの木、又家畜の野生に對したものを見
る無住の林野と化して居た。又クレーマーは
一九一一年(?)にパラオの部落を調査した結
果によれば、何村の中幾許の村は無住の廢村
であつた(Reference)。米國宣教師デリックがク
サイ島民の人口衰退の事實に留意した(Reference)。

東京文房堂製

[illegible]

イェル Xの1 6

（三）三の二下下過去の楽一かりし日

（三）三の二下下の激越と對照せよ。

東京文房堂製

（今度ハザバルの發言する順番が、彼は）
 論戰は終つた。三友人は打ち負かされ、
 ヨブは誰に言ふともなく物辭かに連懷を始め
 る。激戰の直後、戰場に月を仰いで過か来し方
 を思ふ兵士の様な悲壯な静寂さがある。
 （第三十人事は智慧の讃美である）
 （日）此の本末は是を
 （三）三の二下下の激越と對照せよ。

何等輸入等の半數は八五歲以上であるが、入學する年齢の中、年長者を先頭に收
 容する圖像上、稀に十四五歲を以て入學する者もある。
 (典型化)がある。
 漸次二十歳の児童より年長者は少くなり、三三の例を示せば、尤くである。
 十歳

八歲
九歲
十歲
十一歲
十二歲
十三歲
十四歲
十五歲
十六歲
十七歲
十八歲
十九歲
二十歲
二十一歲
二十二歲
二十三歲
二十四歲
二十五歲
二十六歲
二十七歲
二十八歲
二十九歲
三十歲
三十一歲
三十二歲
三十三歲
三十四歲
三十五歲
三十六歲
三十七歲
三十八歲
三十九歲
四十歲
四十一歲
四十二歲
四十三歲
四十四歲
四十五歲
四十六歲
四十七歲
四十八歲
四十九歲
五十歲
五十一歲
五十二歲
五十三歲
五十四歲
五十五歲
五十六歲
五十七歲
五十八歲
五十九歲
六十歲
六十一歲
六十二歲
六十三歲
六十四歲
六十五歲
六十六歲
六十七歲
六十八歲
六十九歲
七十歲
七十一歲
七十二歲
七十三歲
七十四歲
七十五歲
七十六歲
七十七歲
七十八歲
七十九歲
八十歲
八十一歲
八十二歲
八十三歲
八十四歲
八十五歲
八十六歲
八十七歲
八十八歲
八十九歲
九十歲
九十一歲
九十二歲
九十三歲
九十四歲
九十五歲
九十六歲
九十七歲
九十八歲
九十九歲
一百歲

[illegible][illegible]

た部分は他からの移住に負ふ制を出身地別
 で見る。アングラ人の出身地別を見る。それ
 がヤツプ及びトラウツの人口に数字上如何なる影響を
 與へてゐるか。
 次に族人口を見れば昭和五年の Census に
 れば千ヤモロ族は女百幾に就き男一〇九・七、カ
 ナカ族一〇・〇、島民人口全体で見れば一〇・二
 であつて男子超過であるがその程度は大でな
 い。(日本との比較) 但しヤツプだけは例外で女子
 超過である。(これはアングラへの出稼と関係があるか、

四月現在、中十六人だけが島民であつて他は
 皆日本人の人口を所有して居る。
 南洋群島に對する日本人の移住は如何に増
 進し得るか。殊に他支廳管内の主要島たるホ
 ナペ、ヤツプ等に對し如何なる程度に農業移
 民が行はれ得るか。は將來の問題である。恐ら
 く、サイパン及びグアムに對して行
 なはれた如き勢では増加し得ないと思はれる。
 併し從來日本人の移住が南洋群島の生産業化
 に多いなる貢獻を爲したることは明白である。

説明 ターゲット

この原本は
のり付けされ
ている為
のり付けの
まま撮影
します。



過去に於ける諸島の人口を有したと推定察せ
られ、が、スペイン領時代殺され或はグア
島に強制移住せしめられた結果、全島無住リ
ナと化し、嘗て家畜として移入せられた牛
豚は野牛野豚と退化し、独逸領時代になつて
は其の数約二千頭と推測せられ、テニアン島
は野牛野豚のパラグイスであると稱せられた
（マイヤー）。然るに今日に於ては全島面積九八
平オ料の殆んど大部分は開墾せられて美事な
る蔗園と化し、此地に七五五四人（昭和八年

今ハ一十才で字體史と看做し、此期に於て公字本利在字中の者及み

11/24/52

六四九源
四五一派

57.

庚午年四月

11

7

七五

10

三

14.25

常服

 $\frac{11}{2}$

五

一七四人

二

2

1

9

御書

主張したのは根本的に禁裏であつた。

（書）七の部 二 族長時代の俗習である

金一
王の時代
方

用はに者の用はふのす

3) 内容の数は正確に
出メの二言である。(一
の三巻、照)。

(+) 三ツ、鳥のさ。
一ツ、勾掛のさ。
一ツ、入るさ。
一ツ、入るさ。
一ツ、入るさ。

ヒニの
密

東京文房堂製

サイパン及グティアン等は日本人の居住植民
地となつたのである。独逸はサイパン島を犯
罪植民地として利用し、サモアの土人約七十
人(?)を此処に強制移住せしめた(我が海軍
の占領後彼等はサモアの故郷に送還した)。
又中央カロリン諸島の島民をも此処に強制移
住せしめた(曾和)。然るに日本の統治の下に
於てはサイパン島は多くの日本人を收容し、
其の人口の大部分が日本人となつたのである。
更に顯著しきはグティアン島であつて此の島は

以上は去十一月南澤上廟設置以後の公算表であるが、
 寺屋敷しありみに於てあるが、

一 於人口中に在る

各字

$$\begin{array}{r} + \\ \hline 14 \\ 3 \\ 13 \\ 2 \end{array}$$

日
考

四

4. 増加の大部分は沖縄縣人であること、
独逸領時代にあつては島民以外の人口は日
本人を含めて約二百人、独逸人の人口は百餘
名であつた。独逸人は商人官吏及宣教師より
成り、生産的活動に従事する者は殆んど無か
つた。従つて独逸にとつて南洋群島は單純な
る投資植民地であつたのである。然るに日本
統治下に置^かれてからは南洋群島は單なる商業
的及行政的活動の地域としてだけでなく、又
多數の日本人の生産的移住が行はれた。殊に

年々島民の讀書を教授せざるのみならず、教授用紙にも全く島民語を適用せざるの極である。島民の師範員を模倣しては、其の師範員が授業を担う通譯、其他無節の目的を以て、在野教會

す。即ち、も教授用強^レ弱^レは、原則として、農民諸

い
め
な
い
行
子
宣
お
い
に

41-N-36-48

其の如き徴候 大に同治五年 南越の地を
 占領す。

其効用は、(1) 南洋諸島の多くを主として、毎に之を異にする島々に於いて、
共通の事を与ふる事、(2) 官廳及び日本人の事業を若くは家族に_(ニテ)傳へせむ

又ハ匠士ノ實益を得ること、
(3) 日本漢を以て近代文化を明小
力を注

する指合を
 行ふこと
 等の
 所々にあるか
 ねつと書換は
 ない

米と金事
まゝに
あるに
はす。か
し、
讀は
讀くも
不
成。
お
うの
本
を
み
て
の
各
五
石
の
分
紙
を
あ
つ

島民の教化の根本は、即ち「すなはち有徳者の内実を徹底せしむる」

なめには 秘授用油

100

は、イギリスは、これ迄年々
貧困救済の方面を以て
進歩し、よりし、
貧困者を救済する
に努むる。この
三、四年

貧民に對し、家族、
所得を、
欲する、
結果、
貧民に對し、
家族、
所得を、
欲する、
結果、

層大である。
マルサス人口論は、貧困救済の
救貧法、實際的目的を有した。救貧法によ
る公の扶助又は慈善家による、
代、其の、
火急の場合に於て其の効を奏するにありと
は、貧困の根本的対策として、全然其の
目的を達すること能はざる所以を彼は痛切に
指摘した。即ち救貧制度による生活の扶助は
人口増加を奨励し、土地生産物に對して消費

東京文房堂製

島民の生活は、(島民生活)と(島民生活)との間に教育の轉任を自由に行ふ
ことは、一度は島民の生活と一視同仁するの趣旨を現はすものとあり。
か、従つて島民の生活と一視同仁するの趣旨を現はすものとあり。
前述の通り、教育の方針と相対する、島民生活の特殊性に対する、
の不足を感ぜしめる。

公衆教育の補習科を設け、(島民生活)と(島民生活)との間に教育の轉任を自由に行ふ
成所がある。これは、島民生活の生活と一視同仁するの趣旨を現はすものとあり。
のた、この目的を以て、大正十五年五月に創設したものとあり。修業年限二年。
現在生徒は二十名、(島民生活)と(島民生活)との間に教育の轉任を自由に行ふ
者数は、(島民生活)と(島民生活)との間に教育の轉任を自由に行ふ
指導者たるべき訓練を授ける。創設以来昭和七年三月迄に五十九名の卒業生を
送出した。これは、島民生活の生活と一視同仁するの趣旨を現はすものとあり。
男小生者三二名、女小生者五名、郵便局及び法院に在籍する者、
研究生として、(島民生活)と(島民生活)との間に教育の轉任を自由に行ふ
於ては小生あり、(島民生活)と(島民生活)との間に教育の轉任を自由に行ふ
人とするものがある。

に出発したものであつた。即ち南洋興発株式
會社は最初専ら、沖縄縣人の労働によつたので
あるが、大正十一年(?)小作爭議起りたる後
始めて試に東北地方より募集集入植せしめた
ものである。
以上を要するに、南洋群島日本人人口に就
ては尤の諸点が著しく現はれて居る。
1. 増加数の多きこと。
2. 増加の大部分が農業的であること。
3. 増加の大部分がサイパン支廳管内であること。

定期の圓を增加し、その半をしかるに在る期間の経過

ア乙からハ柳、鹽所、江、於、付、了、常、御、供、召、銀、は、左、の、如、く、有、る。

1930
4
2
P. 129
4
P. 125

出稼等物は右表中具役の食料官給である。
 食料等は朝

書

7

9
股
交
ひ
か
る

餘所集之
 名物の
 文化の名物
 の味を知
 る
 爲にも
 無事にあ
 ることゝ
 有るであ
 る。但し
 今更

土物商を養ふやうに
農民はうき道楽
同を大なるふに
よめは、いつか
も食物に
つねに
大勢の
つねに

つて不足を言つて居た。併しそれは品物の粗重といふよりも、寧ろ島民の慣
れと成る習慣をいふに合ふべからぬといふ其にあるものの如くであつた。

たへ名等

本見... 再か国... 教へたる日本...
多くは之を却て...

公衆... 教育は軽くない。

(1) 国有り制... 思想、迷信等、破壊。

(2) 教会が... 勢力の減殺。

(3) 日本人は... 物質的生活の

模倣向上が認められる。

(4) 勤王... 勢力を失ふことに努力して居るが、之は、日本の...
半分の... 勢力を失ふことには、既に... 効果を得た。...

(5) 未開土人は... 施す... 半分の...
(half-education)...

... 勢力の... 減殺... 効果を得た。...

海に日本人は... 模倣向上が認められる。

下

送附

私が各分属に於て、
状況、又非教育施設に於て生活する所を調査するに、
資料として、
のと認めらるる、左に掲げよう。

X

（以下は非常に淡く、ほとんど読み取れない文字が並んでいる）

あり、女子は僅なる漁業と洗濯に従事するの
みである。パラオ島に於ては女子は夕口芋畑
の労働に従事するが、併し之を以て女子の社
会的地位が低いと見ることは出来ない。パラ
オの女子は貨幣の保管者であり、女酋長は政
治上の発言権をも有し、女組合は部落生活に
於て特に勢力を振ふのである。パラオ
社会に於ては母權社会に近いものと見ゆ
程である。パラオ島に於ても女子は夕口芋畑
其他の農業労働供給、椰子林等に於て労働す

大に利用せられてゐるが、たゞ邦人に對して邦語
 だけは邦人に使用せられてゐるが、此の點は認む
 べきと思ひます。卒業生は島民はどうかとも邦語
 を知らざる關係上邦人に接するが、非就學島
 民に於て生活が幾分向上してゐます。食物、衣
 類、諸道具、家屋、等種々の良に於て向上の良
 と認めますが、それは目に見える事、たゞいふこ
 精神の方面に於ては微々たるものと思ひます。
 及ぶ小ざうい考を起し所謂小棚巧者と云
 ます。結果はあまりよくない者であります。まあ
 過渡期です。

明治三十二年

小幡 桐清

なり、過渡期である。島民等には、一大変化の過渡段階である。而して、
公家我々は、^{（その身が）}資本化の車軸車である。島民等は近代化への有力なる車軸車
であると共に、又この近代化へう通二能力と島民等に賦与し訓練するもを要す。
（この意味に於て大体的進歩的役割を果しつつあるものと認められよう）。

リに近代の建築様式の集會所を建てて居る所もある。

公學校卒業者は官廳及在住日本人家庭のボーイとなり、日本人企業家の労働者となり、又は

村
巡警、
村書記、
巡警、
助教員等公の事務に

(最近代りなる巨匠に於て)

携る者も少なくない。公學校教育は島民固有の非宗教性に於て時

の制度を破壞し又教會を宗教的團體として破壊する一面にも有る。但し相伴ふものも有る。

を破壊し、青年をして知的生活の輩となす

するとの非難があつた。
 それにも一理あるが
 有力なる刺激と又

境への適合能力の向上を図る。其の役割を果す。東京文房堂製

認めなければならぬ。但一教之月の効果は教云月の能く^{内証及び}~~外証~~の布反に
依る一般法を空う然る^(その)事なり。

生故の收楚にふりて判らざることを言ふに付たない

100

⑧しあるをめには、島民の
経済生活の向上の必要
がある。不平等

日來多氏にあり有
いなりし拘束力感化力

且つ島民の^{認令の}特殊せに^しおこす^るに
特別の差別の考慮を加ふること少き^はに
於て、